



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

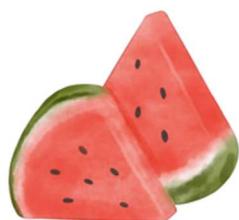
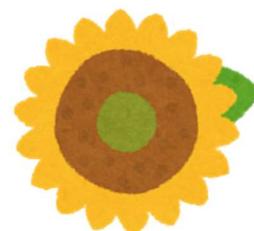
第9号

2024年8月21日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

緒川小学校 補充学習会

8月20日(火)から、緒川小学校で補充学習会が開催されています。今日、21日(水)には9名のSPさんが緒川小学校のSP活動に参加しました。今日来てくれた9名の内、なんと4名が大学1年生。「1年生なのに、よくボランティアに来てくれたね。なんで来てくれたの？」と聞くと、「後期から実習が始まるので、そこに向けて少しでも学校現場のことが知りたくて……。」「大学の講義がある時は来られないので、夏休みの今がチャンスだ！と思って来ました。」と話してくれました。自分が大学1年生の頃は、わざわざ大学が休みの期間にボランティアに参加しようとは全く考えていなかったのですが……。意識の高い学生さんたちが、来てくれています。



SPさんたちはみんな穏やかに子どもたちに接してくれていました。その穏やかな空気が、集中して勉強に取り組む環境を作ってくれています。また、多くのSPさんが子どもたちの解いたプリントを丸つけしていました。SPさんが来てくれると、先生と合わせて倍の人数で丸つけができます。普段の授業であれば、子どもたちは先生に丸つけをしてもらうために、並んだり待ったりしなければならないこともあるでしょう。でも、SPさんが来てくれたら、そうした“待つ”時間が大幅に減ります。すると、子どもたちが取り組める問題の数も増えます。数をこなしていくことも学力の定着には大切です。SPさん、緒川小でも大活躍です。学習の質を高めてくれる存在です。